

鳩山幼稚園だより



ピジョっこ

地域とつながり 地域に愛される みんなだいすき はとやまようちえん 園長 岡部 玲子 NO9 令和5年 12月号

日本には春と秋がなくなってしまったかのように、短い秋が終わり、もう12月となりました。11月8日は二十四節気の立冬でしたが、前日の7日は夏日で、しかも100年ぶりに記録更新となったそうです。様々な季節を表す言葉は最近の気候にそぐわなくなっているように感じます。秋の終わりから冬の初めの暖かい日を「小春日和」と言いますが、11月は「小春」ではなく「小夏日和」のようでした。そのせいか、一人一鉢のビオラの花が徒長してどんどん咲いてしまいました。(種まで出来てしまったものもありますが、摘み取ったので大丈夫です。)



徒長したパンジー

さて、子供たちは「お店屋さんごっこ」が大盛況のうちに終わると今度は「お楽しみ発表会」です。みんな張り切って練習しています。お楽しみに！

＜園外研修 –全県の園長会研究協議会に参加して–＞

11月24日(金)に加須市立大桑幼稚園で、加須市教育委員会・加須市教育研究会指定「幼稚園教育」公開保育に埼玉県園長会として参観してきました。加須市の市議や区長、市内の保育園からも来ていて大勢の来園者がいました。私は自園に戻る関係もあったので、公開保育のみの参観でしたが、他地区の幼稚園に行くと鳩山幼稚園とは違ったところもあり、(なるほどなあー)と感じるところも多々ありました。

大桑小学校と隣接しており幼・小の交流もあるのだろうと、想像できました。3歳児クラスを主に参観しました。お店屋さんごっこをやっていました。本園でも県の5年次研修の異校種研修の会場になり、年長組が他の小学校や高校、特別支援学校の先生を相手に、生き生きとお店屋さんをやっていました。3歳児クラスの子供たちでもこんなにしっかりできるのだと感じました。大勢の初めての大人のお客さんを相手に、3歳の子供たちが手作りの製作物を渡して「ごっこ遊び」を楽しんでいました。



長くコロナ禍の関係で対面での研修が出来ない状況でしたが、他の幼稚園の様子を直接参観すると参考になることが、たくさんあると思いました。

大桑幼稚園3歳児の製作物(スイーツやさん)→

秋の読書推進月間(10月27日~11月23日)は終わりましたが・・・

【鳩山幼稚園 職員の思い出の本・お話を紹介】(後半)

○「こんなこいるかな」 有賀 忍 (矢部 初美 預かりT)

子育て中に娘と観ていた「おかあさんといっしょ」の番組の中でのシリーズ本です。やだもん・ぶるる・たずらなど個性あふれるキャラクターたちがかわいく楽しいお話です。何度もくり返し読み、娘が寝る前に布団の中で読み聞かせたりもしました。はるか前の懐かしい思い出です。

○「おおきなおおきなおいも」 赤羽 末吉 (山崎 幸枝 教諭)

さつまいもほりをするこの時期に子供たちとよく読んでいました。おイモ掘りが雨で延期になって子供たちはがっかり!!でも、そのあとの展開が・・・、楽しい絵本です。

○「パパはウルトラセブン ママだってウルトラセブン」 宮西 達也 (新井 佳子 特別支援教育支援員)

子供がウルトラマンが大好きだったから購入した本です。夜寝る前に必ず読まされていた本です。

○「かぐやひめ」 原作「竹取物語」 作者不詳 (岡部)

寝る前に母親がお話をしてくれたのですが、いつも「かぐやひめ」をリクエストしていました。残されたおじいさんとおばあさんがかわいそうで、お話を聞く度にいつも涙がこぼれてしまいました。小学校中学年頃は「小川未明」のお話が大好きでたくさん読みました。哀しくて切ないお話が多く、やっぱり読み終わった後涙がこぼれてしまいました。(当時は宮沢賢治より小川未明のお話の方が好きでした。)因みに高学年では図書室にあった「怪盗ルパン」や「名探偵ホームズ」のシリーズを、ワクワクドキドキでほとんど全部読みました。

＊次は、お家の人のおススメ本や思い出の本・お話を紹介してください。

活動の流れ <12月>

時 期	さくら 組	に じ 組
12月上旬	<お楽しみ会に向けて> ・お話の役になって遊び、歌を歌う。 ・オペレッタのダンスをみんなと一緒に踊ったり、役に分かれて踊ったりする。	<お楽しみ会に向けて（劇）> ・劇の役割分担を話しあって決めて練習する。 ・お楽しみ会に向けて大道具や小道具等必要な物を作る。
中旬	・オペレッタや歌に必要な物を作る。 ・舞台でのオペレッタのすすめ方や並び方、舞台への出入りの方法を知っている。	<お楽しみ会に向けて（歌）> ・歌を覚えて歌う。
下旬	友だちや年長組の前で演技する。 お楽しみ会に参加する。 もちつき大会に参加する。 2 学期終業式に参加する。	友だちや年少組の前で演技する。 お楽しみ会に参加する。 もちつき大会に参加する。 2 学期終業式に参加する

幼稚園でできるESD 2023]

ピジョっこみんなのファーム

さくら組が来年に向けて くソラマメの種まき>

みんなで種をまいてから2週間くらいしたらソラマメの本葉が出てきました。みんな大喜びで見入っていました。もう少し大きくなったら大きなプランターに植え替えます。



<お米を食べられるようにしよう…第2弾・粳摺り>



粳の付いたお米を少しずつ玄米にする作業(粳すり)を始めました。昨年同様すり鉢の中で野球のボールでコロコロ転がしながら粳をとり除き、最後に扇いで粳殻を吹き飛ばします。根気のいる作業です。

<ピオウの花が届きました…一人一鉢>



例年「人権の花」として役場からピオウの花をいただいています。鳩山幼稚園では一人一鉢で育て、卒園式で式場を飾っています。冬の間はお家に持ち帰り、管理してもらっています。今年もよろしくお願いします。

<収穫したサツマイモを調理して食べよう> 紫のサツマイモでイモ餅を作りました



サツマイモ苗を買った時に、何本かおまけでいただいた苗に紫のサツマイモ苗があり収穫できました。珍しいので子供たちと一緒にサツマイモ餅を作りました。見た目は普通のサツマイモと同じですが、皮をむいても皮と同じ色のイモが出てきて子供たちはびっくり！紫イモをゆでて片栗粉を少々いれて、潰してラップで丸めて平らにし、ホットプレートにバターをしいて両面こんがり焼きました。子供たちは熱々を食べました。よほど美味しかったようで、何度もおかわりをする子もいました。少し余分に作りましたが、完食してしまいました。機会があったらお家でも作ってみると良いですね。味は普通のサツマイモと同じです。

【11月のピジョっこフォト】

3日(金) はとやま祭り



10日(金) お店やさんごっこ



きてね。



大盛況



ゲームやさんもあります



さくら組の

お店屋さん

10日ににじ組のお店やさんが開催されました。お客さんは、さくら組のみんなと、未就園児(ひよこ組)のみんな。さらに、研修で来ていた教師になって5年めの先生方。(今回は小・高・特別支援学校の先生方)たくさんのお客さんが来て、とても賑やかなお店屋さんごっこになりました。研修で来ていた先生方が「最初のお金より買い物をしたらお金が増えた。」と言っていました。《笑》

後日お返しにさくら組がお店やさんを開き今度はにじ組を招待しました。



22日(水)山村短大からご招待…ヨーフラヨーフラ



豪華な

お店屋さん

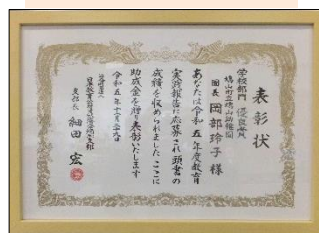


今年も山村短大からヨーフラヨーフラにご招待いただきました。帰る時間がだいぶ遅くなりましたが、いっぱい遊んで、子供たちは楽しかったようです。

図書館訪問 9日(木) 16日(木)



読書活動の取組で優良賞



〈題「本好きの子どもにして小学校へつなげたい」〉

教育公務員弘済会の教育実践報告論文に応募したところ、鳩山幼稚園の4年間の読書活動の取組が優良賞になりました。義務教育以上の学校が対象になる中、幼稚園での取組が評価されたことを嬉しく思いました。

楽しい預かり保育

＜園の日常＞

折り紙教室



揚げパン給食、美味しかった。全員完食！



ボンボコ公演

み～んな！げんき！

さくらぐみ



『初めての挑戦、エイエイオー！』

さくら組担任 星野 佐和子



何をするにも気持ちの良い秋晴れの朝、支度を終わるとみんなそれぞれのやりたい遊びや、遊びたい友達の所へ走って向かっていきます。お店屋さんごっこやソラマメの種まきなど新たな活動にも「やってみよう。」と挑戦する様子が見られそんな後ろ姿に、確かな成長を感じています。

☆図書館へ行ってきました☆

先日の図書館訪問は、にじ組と手を繋ぎ歩いて図書館へ行きました。「エイエイオー！」の掛け声と共に元気に出発しました。必死に歩くさくら組のみんな。農村公園で休憩する頃には、「まだまだ歩けそう。」「大丈夫、頑張れる。」と力強い声の一方で「もう歩けない。」と疲れた様子を見せる姿もありました。にじ組の友達に励まされながら、途中行きかう人に挨拶をしたり、可愛い花を見つけたり、落ち葉の道を楽しんだり、徒歩ならではの発見を楽しみながら、そして交通ルールを学びながら、無事に図書館に到着することが出来ました。図書館では視聴覚室でDVD鑑賞をして、教師や司書と一緒に気に入りの一冊を見つけ、持ち帰ることが出来ました。

☆ドキドキの自転車☆

園庭に自転車を出しました。スイスイと乗る姿を見せてくれるにじ組に憧れて、さくら組の子も「乗りたい。」「後ろに絶対いてね。」とドキドキしながら、全員が自転車にまたがり、教師の支えを頼りにしながらも園庭を回ることが出来ました。興味をもった子は練習を繰り返し、乗れるようになりましたが、ドキドキ慎重になる子、他の遊びに夢中な子、みんなそれぞれの姿です。これからもタイミングを見ながら、挑戦出来るよう声を掛けていきたいと思ひます。

にじいろ

『 水はここまで！ 』

にじ組担任 窪田幸恵

先日オープンした『にじぐみや』のお店屋さんごっこの活動を通し、友達と相談をしながら進めたり、一緒に考えたりすることをたくさん経験したにじ組の子供たちは、普段の生活の中でも自分たちで考えついたことを「やってみよう！」とする姿が見られるようになってきています。

【ヒヤシンスの水の量】



ヒヤシンスの水栽培では、水の量は最初、球根の底が少し触れる位の量を入れます。

『球根のおしり（底の部分）が水についているかな』『球根が水につかっていると腐ってしまうかも…』など子供たちのヒントになるような言葉をかけながら、担任が方法を知らせていきます。新しいことに挑戦するのが大好きなにじ組さんは、ワクワクした気持ちで水を入れていきます。「先生、このぐらいでどうかな？」と、水の量を何度も調節し、確認しながら入れ終わるとAちゃんが、「そうだ！水の印をつけておけばいいんだ！」と教室の油性ペンを持ってきて、「水はここまで！」と言いながら目印用の線をペットボトルに引きました。「それいいね！」と周りにいた友達も、真似をして線を引いていきます。自分なりに考えてやってみる姿、友達のしていることに共感して自分もやってみようとする姿に、年長組としての頼もしさを感じました。どんな色のヒヤシンスが咲くのか今からみんなで楽しみにしています。



【ドキドキわくわく！お楽しみ会】

にじ組のみんなは、さくら組の時に演じた『がらがらどん』の音楽劇のことをよく覚えています。「ときどきしたな！」や「トロールに変身して楽しかった！」と振り返りながら、今はセリフのある劇にみんなで行っています。「ドアをつくらなくちゃ！」「おばけマンションの歌が大好き！」とそれぞれに期待を膨らませお楽しみ会の日を楽しみにしています。みんなで一つのを作り上げていく楽しさが感じられるようにしながら、お楽しみ会まで力を合わせて頑張っていきたいと思ひます。